

経費 第1問 問題

次の各取引について、直ちに仕掛品勘定や製造間接費勘定を用いる方法で仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適当と思われるものを選ぶこと。

現 金	当 座 預 金	仕 掛 品	
製 造 間 接 費	未 払 電 力 料	機 械 減 価 償 却 累 計 額	

1. 工場の機械について、当月の減価償却費 280,000 円を計上する。
2. 外注業者に対して、加工賃 86,000 円を小切手を振り出して支払った。
3. 工場で発生した当月の電力料測定額は 124,000 円であった。

	仕 訳			
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				

経費 第1問 模範解答

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	製造間接費	280,000	機械減価償却累計額	280,000
2	仕掛品	86,000	当座預金	86,000
3	製造間接費	124,000	未払電力料	124,000

【解説】

直ちに仕掛品勘定や製造間接費勘定を用いる方法では、直接経費の発生は「(借) 仕掛品」となり、間接経費の発生は「(借) 製造間接費」と仕訳する。

1. 減価償却費は間接経費なので、借方は製造間接費 280,000 円を計上する。
2. 外注加工賃は直接経費なので、借方は仕掛品 86,000 円を計上する。
3. 電力料は間接経費なので、借方は製造間接費 124,000 円を計上する。